

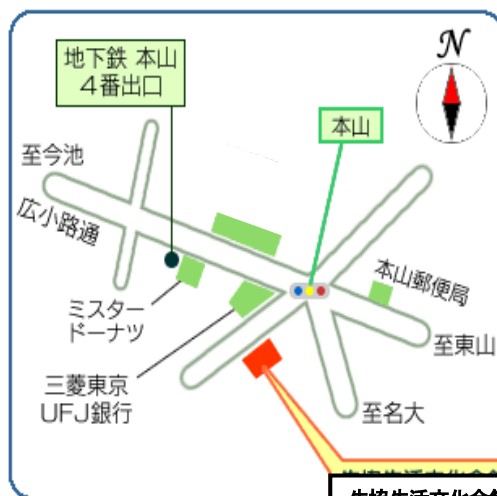
# 2016年度通常総会(第16回)

下記の通り、2016年度通常総会(第16回)を開催します。

- 日時 2016年5月28日(土) 総会 10時30分～12時15分  
○会場 生協生活文化会館4階ホール  
○議題 第1号議案 2015年度事業報告と決算承認の件  
第2号議案 2016年度事業計画と予算決定の件  
第3号議案 理事・監事の選出及び顧問委嘱承認の件  
第4号議案 定款の一部変更の件

## ＜会場への交通＞

地下鉄東山線 本山駅下車  
4番出口より徒歩2分



生協生活文化会館 外観

生協生活文化会館(コープあいちコープ本店)  
会場 4階 ホール

## 2016年度総会記念シンポジウム

### 「くらしのつながりと地域再生」

### ～地域社会での協同組合の活動と役割を考える～

○日時：2016年 5月28日(土) 13時～15時

○講演：「半市場経済—成長だけでない共創社会の時代—」

講師 哲学者 内山 節(うちやま たかし) 氏

格差の拡大等、競争社会の中で、私達のくらしや社会が市場経済にコントロールされる側になっています。地域と協同の研究センターで開催した第12回東海交流フォーラムで、「よりよい“くらし”をつくる地域のつながり～小さなつながりからひらける地域の未来～」をテーマに、地域で「小さなつながり」から、よりゆたかな地域社会を築こうとする実践を紹介し合ってきました。

内山節氏が執筆された「半市場経済—成長だけでない共創社会の時代—」では、競争原理の市場経済に関わりながらも、より良い働き方やより良き社会をつくろうとする「半市場経済」の営みが広がり始めていると紹介されています。成長ばかりめざす競争社会ではなく、志と価値観の共有が働くことの充足感をもたらすという「共創社会」は、東海交流フォーラムで紹介された地域の実践について、その価値を再度確認し合い、その先に目指す社会のあり方につながるものではないでしょうか。



## 第1号議案 2015年度事業報告と決算承認の件

### I. 2015年度事業計画の目標としたことから

第3期中期目標の柱は、研究センターの活動を、地域を基盤にした活動にしていくことです。

#### 第3期中期目標と2015年度に目標としたことから

地域を軸とした活動を柱として、重点に取り組み、そうした中で、地域と協同の研究センターの今後のあり方が展望できるようにします。

- ①地域を軸とした研究センターのあり方、それを支える仕組みを形にし、会員の参加でつくる学び、交流し、研究する場が安定してつくられていくことを目指します。
- ②地域を軸とした研究センター活動につながる、研究センター会員・市民が求める情報の交流・蓄積・発信を確立していきます。
- ③この間の協同組合・市民協同組織の理念と役割を深め合う場、学び合う場を継続し、より多くの会員の声をつなげ、充実させます。

こうした①②③を具体化した活動を通じ、2015年度はTPP、食料問題、地域福祉をテーマに、必要とされる情報の発信（提言）について地域と協同の研究センター理事会で検討し、すすめていけるようにします。

#### この計画に対する振り返り

上記の3つの目標に対し、下記のようにすすめてきました。

- ①地域懇談会を三河・三重・岐阜・尾張の地域でテーマを持って世話人会を定期的に開催し、地域の人のつながりと協同活動を知り、学び合う場を主催してつくってきました。その成果を第12回東海交流フォーラムにつなげ、地域の協同の実践から未来を考える今後の研究センター活動のあり方が見えてきました。
- ②増刊「地域と協同」を発刊し、テーマに沿って追加取材を行い、「地域の実践を（理論的に）深める」ことに努力し、学び合ったことを伝える工夫を重ね、今後の見通しをつくってきました。
- ③日本協同組合学会の岐阜大学で開催された第35回大会に協力し、協同組合について考え合う場を広げました。その大会で「生協の（未来の）あり方研究会」で発刊した「未来を拓く協同の社会システム」は、日本協同組合学会賞学術賞（共同研究）を受賞しました。こうした蓄積と情報の発信が地域と協同の研究センターに対する期待を広げています。

2015年度活動を通じ、TPP、食料問題、地域福祉といったテーマでの学び合いの場をつくり、地域を軸とした研究センター活動の土台をつくってきました。

### II. 2015年度事業計画の構成と具体的な取り組み計画

#### 1. 協同組合の理念・役割・あり方の探求と情報の発信

##### (1) 地域懇談会

地域を軸にした地域と協同の研究センターのあり方を探求し、4つの地域懇談会の場での相談を大切にし、地域で取り組まれる人のつながりと協同の活動について学び合う場を広げてきました。

##### ①三河地域懇談会

三河地域懇談会実行委員会では、世話人会を7回開催し、地域懇談会で取り組む3ヶ年の計画の2年目の活動として「私たちの暮らしと介護」～地域で絆な老い支度を～をテーマに以下の取り組みを行いました。



豊川の自然と設楽ダム

|       |                    |                                                                                          |
|-------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月2日  | 南医療生協「よってって横丁」の見学会 | いきがいのある高齢者住宅って？切れ目のない医療・介護って？右左両側から入るお風呂、上下する洗面台、引き戸のトイレなど利用者の立場でつくられた部屋等を見学しました。（参加14名） |
| 5月22日 | 六条潟の見学と交流会         | 六条潟を見学し、「アジアの浅瀬と干潟を守る会」山本茂雄さんのお話をお聞きした。アサリの現状を知り、海を守ることの大切さ、どうしたら守れるかを考え合いました。（参加16名）    |
| 6月29日 | 福祉の学習会第二弾          | 介護保険の制度と実際、社会保障制度と税の一体改革、地域包括ケア                                                          |

|        |                      |                                                                                           |
|--------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
|        |                      | システム等を学びました。（参加１０名）                                                                       |
| １０月９日  | 「豊川の自然と設楽ダム」環境学習会    | 設楽ダム中止を求める会代表市野和夫先生を講師に、「豊川の自然と設楽ダム」ー治水・利水・環境を掲げている設楽ダム事業は必要か？ーをテーマに学習会を開催しました。（参加１６名）    |
| １０月３１日 | フィールドワーク「豊川の自然と設楽ダム」 | 豊橋市から新城市、設楽町まで、豊川を遡りました。途中、アユの生息限界を確かめ、東西分水工（大野頭首工で取水した水を東西に分ける）や、中央構造線の露頭を見学しました。（参加１５名） |

## ②三重地域懇談会

地域懇談会の世話人会で２０１５年度取り組むテーマについて相談し、再生可能エネルギーをテーマに、三重での取り組みについて、施設や地域を見学することから始めました。その取り組みの中で、第１２回東海交流フォーラムで報告いただいた多気町勢和地域の立梅用水という「地域資源を活用したまちづくり」を学びました。



| 日程     | 企画                             | 内容                                                                              |
|--------|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| ８月２６日  | 水土里（みどり）ネット立梅（たちばい）用水型小水力発電の調査 | 小水力発電で発電した電気を売電ではなく地域資源として活用してみえました。（参加６名）                                      |
| １０月２６日 | 木質バイオマス発電所の見学と熱利用の施設を見学        | 松阪市にある木質バイオマス発電所である「三重エネウッド株式会社」、木質バイオマスボイラーのある「松阪木質バイオマス熱利用協同組合」を見学しました。（参加７名） |

## ③岐阜地域懇談会

第１１回東海交流フォーラムの内容をコープぎふの組合員・職員に聞いてもらおうと、コープぎふ本部で「ミニフォーラムINぎふ」を開催しました。「岐阜を知ろう！つながろう！」をテーマに岐阜のつどいを世話人が地域の下見や取材を行いながら、３カ所の訪問見学交流として取り組んできました。

| 日程    | 企画               | 内容                                                                     |
|-------|------------------|------------------------------------------------------------------------|
| ５月２５日 | 郡上市明宝小川地区の訪問     | 郡上市明宝小川地区の地域の取り組みを世話人会で訪問し、地域活性化につながっているお話をお聞きしました。（参加８名）              |
| ７月２５日 | 「ミニフォーラムINぎふ」を開催 | 山県 中村さん、多治見支所 塚田さん、設楽の大脇さんより発表いただきました。（参加１５名）                          |
| ８月２０日 | ２度目の石徹白訪問        | 平野さんより、組合を設立して取り組んだ小水力発電のお話、前回訪問後の、石徹白の様子を伺い、見学。（参加２３名）                |
| １１月６日 | 東白川村の訪問          | 一般募集はせず、世話人会で訪問。さまざまな団体のお話を聴き、マキ作り、棚田など見学。（参加１０名）                      |
| １２月５日 | 恵那店で取材           | スルメの麴漬けの学習会ー店舗組合員の自主的活動、恵那地方の伝承料理普及、今年で７回目、利用したスルメ２２４０枚ーの様子を見学・取材しました。 |

## ④尾張地域懇談会

２０１５年度、尾張地域懇談会は定例の世話人会を開催してきました。その中で、尾張の実践事例を学ぼうと、６月８日に南医療生協の「よってって横丁」を見学し、お話をお聞きしました。１１月２５日には「星崎診療所」を見学し、東海交流フォーラムでその実践報告をしていただきました。

| 日程     | 企画               | 内容                                         |
|--------|------------------|--------------------------------------------|
| ６月８日   | 南医療生協「よってって横丁」見学 | オープン後の様子を見学させていただき、お話をお聞きしました。（参加８名）       |
| １１月２５日 | 南医療生協「星崎診療所」等見学  | 星崎地域での総合的な福祉事業の取り組みについて、学ばせていただきました。（参加６名） |

## (2) 4つの領域での研究フォーラム

地域を軸にした活動の根拠をつくり、支えているのが4つの領域での研究フォーラムの活動です。

### ①研究フォーラム「食と農」

今後の「食と農」を考え合いたいと世話人会で相談し、5月30日（土）の総会記念シンポジウム「私たちの食と家族農業」を準備しました。また、継続できる農業のあり方を考え合うため、9月2日に「松阪農業公園ベルファーム」の見学と学習の場を持ち、さらに2月26日（金）に公開学習会「食と農を考える学習会—日本農業は持続可能か〜私たちの食と地域農業へのかかわりから考える」を開催しました。



食と農を考える公開学習会

| 日程    | 企画                      | 内容                                                                            |
|-------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 9月2日  | 「松阪農業公園ベルファーム」調査見学      | 「ベルファーム」が、地域農業に関わってどのように運営・活動しているか見学。今後の食をささえる農業に関わって大原先生よりお話をお聞きしました。（参加11名） |
| 2月26日 | 食と農を考える学習会—「日本農業は持続可能か」 | 大原興太郎先生より、生活者、消費者として農業にどうかかわるか、市民、地域が支える農業へとは？など、実践の事例を踏まえてお話をいただきました。（参加25名） |

### ②研究フォーラム「地域福祉を支える市民協同」

継続して取材を行ってきた「瀬戸・窯のひろば」とNPO法人エム・トゥ・エムの活動について、新しい動きと現在の状況を確認しながら、世話人会で、そこから読み解く気づきを出し合い、地域福祉を支える市民協同の課題は何かについて話し合いを重ねてきました。10月20日には「ささえあいの家」（各務原）を10名の参加で見学しました。「瀬戸・窯のひろば」の調査を踏まえて、世話人会で意見を出し合い、「報告集」にまとめていく、また、研究センターの「これからの地域福祉と非営利・協同組合の役割」の政策検討にもつなげていくようにしたいと相談しています。

### ③研究フォーラム「職員の仕事を考える」

これまで共同購入事業に係る職員・利用する組合員のヒアリングを中心に行ってきましたが、2015年度は、センター・支所でリーダー・エリアマネージャー・グループ長として活動される職員の皆さんからのヒアリングに取り組んできました。コープあいちからお二人、コープぎふからお二人、コープみえからお二人のヒアリングを行うことができました。

ヒアリングを行ったことで、今の共同購入事業の現場における職員の現状とやりがい、課題が見えてきました。

### ④研究フォーラム「環境」

2014年度に続き「現状を知りたい」と、「浜岡原子力発電所」を見学しました。その上で世話人会で「再生エネルギーについて学び、今後のエネルギーを考えたい」と相談し、「再生可能エネルギー」の公開学習会を開催しました。東海の3生協で取り組む環境を守る活動について情報を共有しながら、見学と座学を組み合わせた取り組みを進めてきました。

| 日程    | 企画                                  | 内容                                                                                          |
|-------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月24日 | 「浜岡原子力発電所」見学                        | 発電所見学会第4弾として、「中部電力 浜岡原子力発電所見学会」へ行って来ました。（参加31名）                                             |
| 9月13日 | 「私たちの地域でできる再生可能エネルギーとは」再生可能エネルギー学習会 | 名城大学経済学部教授 井内尚樹氏に、表記のテーマで講演いただき、私たちのできること、熱エネルギー、断熱のこと、自然エネルギー生産の市民出資のこと等を提起いただきました。（参加32名） |
| 12月7日 | 「三重エネウッド・ウッドピア」見学                   | 再生可能エネルギー学習会を受けて、地域の事例調査に取り組みました。三重の間伐材を利用した、木質バイオマス発電について発電施設を見学しました。（参加13名）               |

### (3) 研究センター全体の取り組み

#### ①生協の（未来の）あり方研究会

「生協の（未来の）あり方研究会」は継続して次の成果物を準備できるよう、7月26日に研究集会を開催しました。定例の研究会（10回の開催）で問題意識を育んできました。また、2013年に発刊した「未来を拓く協同の社会システム」が日本協同組合学会賞学術賞（共同研究）を受賞しました。

生協の（未来の）あり方研究会 研究集会の概要（参加 48名）

2015年7月26日（日）、ワークライフプラザれある大会議室にて開催しました。3人のゲストスピーカーに講演いただき、研究会メンバーも発言し、テーマに沿って深め合いました。ゲストスピーカーは3名の方で、以下のテーマでお話をいただきました。

菊谷宗徳氏（「エフコープ生協」 理事長）「組合員を主体におききるあり方への思いと実践」

加賀美太記氏（就実大学 経営学部講師）「マーケティング論研究者の視点から、今後の生協運動への思い」

鈴木蔵人氏（全国生協労働組合連合会 副委員長）「『働きがい』をつくり、『やりがい』ある生協について、生協労連は、『4つの提言』をまとめました。」

#### ②総会記念シンポジウム

総会記念シンポジウムは、5月30日（土）に「私たちの食と小規模家族農業」をテーマに、愛知学院大学経済学部専任講師 関根 佳恵氏を講師に開催しました。

「小規模家族農業」を見直し、継続できる農業を考える上で問題提起いただきました。（参加 84名）

#### ③第12回東海交流フォーラム

第12回東海交流フォーラムは、昨年度のテーマ「よりよい“くらし”をつくる地域のつながり！」を継承し、副題を～小さなつながりからひらける地域の未来～として、岐阜・愛知・三重の各地域で、人がつながる力で、地域に元気が生まれている取り組みを紹介し合いました。（参加 102名）

講演（問題提起）「小さな協同・新たな協同で拓く地域の未来」～第35回日本協同組合学会・岐阜大会に学ぶ  
講師 荒井 聡氏 岐阜大学応用生物科学部教授

報告①三河地域における「つながりづくり」活動（三河地域懇談会のあゆみ）と

今始まった「豊橋市における“ちょいボラ”活動」

報告：「三河地域懇談会」世話人 田所登代子氏

「とよはし“ちょいボラ”の会」代表世話人 水藤典子氏

報告②小水力発電導入を通じた地域自治再生をめざして

報告：石徹白農業用水農業協同組合参事 NPO法人地域再生機構副理事長 平野彰秀氏

報告③医療機関を拠点とした地域コミュニティ

報告：JA愛知厚生連 足助病院 企画室長 上田章弘氏

報告④ささえあいたすけあい 地域だんらんまちづくり～星崎ブロックの地域包括ケアシステム

報告：南医療生活協同組合 副理事長 中村八重子 氏

報告⑤地域資源を活かしたまちづくり

報告：水土里（みどり）ネット 立梅（たちばい）用水 事務局長 高橋幸照氏



第12回東海交流フォーラム

#### 《第12回東海交流フォーラムの感想から》

「つながるということの大切さを学びました。自らの自立を取り戻すために、つながりをつくっていくことが大切になると感じました。」

「小さなつながりづくりが地域をかえ、日本をかえていくこと確信。足もとから始めていくことの大切さを再認識しました。」

「『みんなで協同してものごとをすすめることは、たいへんけど楽しかった。みんなで地域を維持していくこと。自分達で自分達のくらしをつくっていくことになる』まさにそうだと思います。」

#### ④国際協同組合デー記念行事

7月3日（金）今年で4回目となる国際協同組合デー記念行事を、テーマ「地域における協同組合連携の可能性をさぐる」で愛知県の協同組合で実行委員会をつくり、108名の参加で開催しました。初の試みとして、食と農、次世代、福祉・医療・介護のテーマを設け、分科会を開催しました。まとめて向井清史氏（名古屋市立大学特任教授）より、「協同組合の10年に向けたブループリント」を学ぶことの大切さについて提起いただきました。

また、2016年の2月13日に「地域社会の持続可能性と協同組合の役割」をテーマに日本生協連 専務理事和田寿昭氏にお越しいただき、「愛知における協同組合連携を推進するトップセミナー」を135名の参加で開催しました。

#### ⑤3つのテーマでの政策提言

協同組合の活動に関わり課題となっている「食と農」「地域福祉」「TPP」の3つのテーマに関わり、学習会を開催し、論点整理し、情報を発信しようと検討してきました。

学習会：7月4日（土）「食と農（くらしと生産）と非営利・協同組合の役割」

9月12日（土）「これからの地域・社会と非営利・協同組合の役割」

12月19日（土）「グローバリゼーションにおける食料主権・地域主権と非営利・協同組合の役割」

#### ⑥日本協同組合学会・岐阜大会の開催支援

第35回日本協同組合学会・岐阜大会が、10月2日～4日岐阜大学応用生物科学部で開催されました。地域と協同の研究センターは、大会に協賛・協力しました。初日には、地域シンポが行われ、岐阜地域での協同組合の取り組みが紹介されました。

## 2. 協同の主体づくり・担い手づくりと学びと気づきの支援

#### ①各生協での職員を中心とした学びと気づきの場づくり支援

各生協の要請に応え、学びと気づきの場づくり支援に取り組みました。

2015年度支援を実施した生協は、①コープあいち、②コープあおもり、③社会福祉法人「協同福祉会」あすなろ苑、④コープ九州事業連合、⑤コープおきなわ等で、支所長や店長のゼミナール、職員の自己発見塾等があります。支援により職員の変化、事業実績での変化の報告があります。

#### ②共同購入事業マイスターコース

これまで積み上げてきた内容を継続し、企画委員で打ち合わせを重ね、第七期のマイスターコースを開講しました。2015年度の受講生で、職場の先輩が「マイスターコースは受講するといいい」とすすめられて手を挙げたという事例も生まれています。（25名受講）

#### ③組合員理事ゼミナール

2014年度から2015年度の2年間で、より充実した内容にして第3期組合員理事ゼミナールを開講しました。各生協の先輩理事のみなさんと事務局で世話人会を構成し、各回の内容や進行について相談し、ファシリテーターも担っています。（19名受講）

#### ④協同の未来塾

協同組合・生協運動の核となる未来の担い手として活躍されることを願い、生協運動に同じ志を持つ仲間の学びの場として、第一期での経験を生かし2015年度～2016年度の2年をかけ、第二期「協同の未来塾」を開講します。受講されたみなさんにとって、協同組合を学ぶ貴重な場となっています。（19名受講）

#### ⑤名古屋市立大学での寄付講義

前年を継続し、2015年度上期、協同組合に関わる寄付講義「現代社会における人と地域のつながり」を生協、医療生協、大学生協、社会福祉法人、NPO法人の13人の方に講師を担当いただき、開講しました。110名を超える学生が毎回熱心に受講し、協同組合への関心を広げました。講義での学びをいかして名市大で取り組まれるボランティア活動での単位認定の紹介もあり、愛知県被災者支援センターでの活動等も紹介しました。

### 3. 会員による多様な研究センター活動の支援

#### (1) 「ものづくりの思いを語る会」の支援

2015年7月9日、第28回ものづくりの思いを語る会では、有限会社デリーファームの農場を見学し、交流しました。「くらしと生産をつなぐ“もの”づくり」準備会にも参加して、今後の相談、運営に協力しています。12月2日には、第29回ものづくりの思いを語る会を開催しました。ものづくりの思いを語る会でこの間行っていることを、東海の生協の職員の学びに活かさないか、生協の組合員とも一緒に、商品づくり、商品開発について相談し、具体化できないか等検討を重ねました。

#### (2) 「くらしと生産をつなぐ“もの”づくり」相談会の実施

2015年2月に「くらしと生産をつなぐ“もの”づくりの会」を開催した関係者が、7月22日、10月20日、2月22日の3回準備会として相談の場を持ちました。今後の“もの”づくりを考える契機となる取り組みにしようと、2016年度に具体化をする相談を重ねてきました。

#### (3) 第四期研究奨励助成の実施

2015年度、第四期研究奨励助成に取り組むことを決め、募集を行いました。応募は4件あり、助成することを決め、2016年度に取り組んでいただきます。

### 4. 協同に関わる情報の蓄積と社会的発信

増刊「地域と協同」は、地域懇談会で選出された委員も参加する編集委員会で、「テーマを持った、研究的な掘り下げを行う情報交換の場」となる広報を目指し、第3号、第4号の編集を進めました。第3号では、4つの地域における協同活動の実践を特集しました。第4号では、第11回東海交流フォーラムの講演と地域の事例で報告されたことの紹介に加え、各事例の「その後」を取材し、課題や特徴、可能性などを考え合うことができるように編集しました。また、「NEWS」は研究センターの活動を紹介する内容で編集し、毎月発行しました。また個々の活動速報は、ホームページやフェイスブックに掲載し、紹介してきました。

### 5. 研究センターの組織づくり

2015年度は、会員の増加に積極的に取り組みました。取り組んだことは①地域と協同の研究センターを紹介するパンフレットの作成、②「お誘い集中月間」（6月1日～7月31日）を設けての会員へのお誘い、③ポスターを作成して加入各団体に配布、④理事会に毎回加入状況を報告し、対策を検討したことなどです。会員は研究センターでの会員活動が広がり、そうした取り組みの中でお誘いすることで入会が増え、場への参加が増えることで会員の活動は深まっています。2015年度お誘い月間を設けたことで、さらに意識的に誘っていただきました。

### 6. 研究センターNEWS（ニュース各号の主な記事）

|                   | 巻頭                                                                | 研究フォーラム発・地域発・会員発の発信                                                                                                                                                           |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 128号<br>2015 4/25 | 原点を確かめながら 生協運動未来創造を コープあいち常任顧問 八木 憲一郎 氏                           | 三河地域懇談会 南医療生協「よってって横丁」へ行きました！ 2014年度「協同の未来塾」開講 マイスターコースも組合員理事ゼミもより充実、平和・協同の学び実行委員会主催「協同っていいね～夢をかなえる協同の力～」                                                                     |
| 129号<br>2015 5/25 | 3月22日(日)学習会『電磁波ってなあに？』から 外山 孝司 氏 消費者行動ネットワーク(略称CAN)事務局長           | 研究フォーラム環境「中部電力浜岡原子力発電所」見学 想定による安全対策一だから安全か・・・それでも不安に、2015 度下期名古屋市立大学 寄付講義『現代社会における「人と地域のつながり」』スタート                                                                            |
| 130号<br>2015 6/25 | 「知の種をいっぱい蒔いていつか花が咲いたらいいな・・・」山村 まさこ 氏 生活協同組合コープぎふ理事・地域と協同の研究センター理事 | 2015年度第15回通常総会 報告「地域を軸とし、参加の広がりの中で！」、総会記念シンポジウム 報告「私たちの食と小規模家族農業」講演、「おさらい集中月間」6月1日～7月31日 特集、三河地域懇談会「六条湯」見学交流会「あさりはどうなっているか！？」、岐阜地域懇談会 第8回「岐阜のつとめ」 「小川はいいところ、空気がいいし、水がおいしい・・・」 |
| 131号<br>2015 7/25 | 「くらし」は「平和」であるからこそ守られているんですね！ 森島和子 氏 生活協同組合コープみえ理事・研究センター理事        | 国際協同組合デー記念行事 愛知「地域における協同組合連携の可能性をさぐる」、三河地域懇談会 学習会 第二弾「福祉って なあに」、食と農を考えるーコープあいちの実践事例「小規模家族農業を支えるコープの直売所」                                                                       |

|                    |                                                            |                                                                                                                                               |
|--------------------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 132号<br>2015 8/25  | 「続 豊橋空襲体験記」の発刊によせて<br>体験記編集委員 水藤 典子氏                       | 政策提言「公開学習会」第一回「食料・農業問題と非営利・協同組合の役割」！<br>岐阜地域懇談会「プチフォーラム IN 岐阜」、どうかいい食農健サポートクラブ<br>総会記念シンポジウム「現代の山湊馬波(さんそうばろう)を目指して」                           |
| 133号<br>2015 9/25  | 私たちの「生活支援ボランティア活動：助け合い活動」各務原市八木山地区生活支援<br>ボランティア活動事務局清水孝子氏 | 生協の(未来の)あり方研究会研究集会 人間らしい市民社会を築く生協運動<br>の未来を考え合う！ 岐阜地域懇談会第9回岐阜のつどい「2度目の訪問・<br>あの石徹白 進化した姿を確かめましょう」おさそい集中月間に取り組んで                               |
| 134号<br>2015 10/25 | 安保法制に対する私の学び<br>三重大学名誉教授 高山 進氏                             | 政策提言第二回「公開学習会」「これからの地域福祉と非営利・協同組合の<br>役割」！ 研究フォーラム環境 再生可能エネルギー学習会「私たちの地域<br>でできる再生可能エネルギーとは」研究フォーラム食と農 ベルファーム見学<br>「日本農業は持続可能か」についてお話を聞きました   |
| 135号<br>2015 11/25 | TPP「大筋合意」を受けて 農民運動岐阜<br>県連合会(岐阜農民連) 事務局長 中島<br>新吾氏         | 三河地域懇談会「環境学習会」・「豊川の自然と設楽ダム」-事業は必要か？<br>研究フォーラム地域福祉をささえる市民協同「ささえあいの家見学会」報<br>告、三重地域懇談会 地域内環境型エネルギーについて考える「三重エ<br>ネウッド株式会社と松阪木質バイオマス熱利用協同組合の視察」 |
| 136号<br>2015 12/25 | TPPと医療・福祉-TPPにおいて最も懸<br>念されていること 岐阜健康友の会 事務<br>局長 熊崎 辰広氏   | 政策提言第3回公開学習会「TPP協定と主権国家へグローバリズムを越<br>えて」、岐阜地域懇談会第10回岐阜のつどい「東白川村訪問ー地域資源を活<br>かしながら活性化を探る」、第35回協同組合学会・岐阜大会地域シンポジウム                              |
| 137号<br>2016 1/25  | 持続可能な地域社会の未来を若者と共に<br>地域と協同の研究センター専務理事・<br>向井 忍氏           | 「ものづくりの思いを語る会」からのメッセージ 暮らしをつくっているみなさん<br>のお声もぜひお寄せ下さい、『未来を拓く協同の社会システム』日本協同組<br>合学会賞受賞!のお知らせ                                                   |
| 138号<br>2016 2/25  | アベノミクスとTPP 岐阜県食健連会長・<br>岐阜大学名誉教授 安部 淳氏                     | 第12回東海交流フォーラム 速報「よりよい“暮らし”をつくる地域のつながり」<br>～小さなつながりからひらける地域の未来～、研究フォーラム「環境」再生<br>可能エネルギー事例視察・見学会 木質バイオマス発電ー小規模分散型の事<br>業として実現                  |

### Ⅲ 組織・機関運営のまとめ

1. 第15回通常総会を、2015年5月30日(土)に、生協生活文化会館4階ホールにて開催しました。  
出席状況は、次の通りです。

|      | 出席者 | 実出席 | 委任 | 書面表決 | 会員数 |
|------|-----|-----|----|------|-----|
| 個人会員 | 152 | 62  | 1  | 89   | 226 |
| 団体会員 | 14  | 7   | 0  | 7    | 15  |
| 合 計  | 166 | 69  | 1  | 96   | 241 |

各議案の採決結果は下表の通りです。

過半数の賛成で、2014年度事業報告と決算承認の件(第1号議案)は承認され、2015年度事業計画と  
予算決定の件(第2号議案)は過半数の賛成で提案通り決定されました。定款の一部変更の件(第3号議案)は、  
総会出席者の2/3以上の賛成で可決されました。

#### <議案毎の採決結果>

|       | 議案                | 賛成     | 反対 | 保留 |
|-------|-------------------|--------|----|----|
| 第1号議案 | 2013年度事業報告と決算承認の件 | 明らかな多数 | 0  | 0  |
| 第2号議案 | 2014年度事業計画と予算決定の件 | 明らかな多数 | 0  | 0  |
| 第3号議案 | 定款の一部変更の件         | 163    | 0  | 0  |

### 2. 理事会の開催

2015年度、下表の通り理事会を開催しました。

|      | 回数  | 開催日       | 主な議題                                                                        |
|------|-----|-----------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 14年度 | 第6回 | 4月25日(土)  | 1. 第15回総会議案書について<br>2. 第15回総会の運営について<br>3. 総会記念シンポジウムについて                   |
| 20年度 | 第1回 | 5月30日(土)  | 1. 2015年度の役員体制について<br>2. 2015年度の理事会日程について<br>3. 協同組合学会の後援について               |
| 15年度 | 第2回 | 7月4日(土)   | 1. 第15回総会・総会記念シンポジウムの振り返り<br>2. 2015年国際協同組合デー記念行事の振り返り<br>3. 2015年度の計画に関わって |
|      | 第3回 | 12月19日(土) | 1. 第12回東海交流フォーラムについて<br>2. 2015年度の振り返り                                      |

|     |          |  |                                                                                         |
|-----|----------|--|-----------------------------------------------------------------------------------------|
|     |          |  | 3. 2016年度総会の準備について<br>4. マイナンバー制度に関わって                                                  |
| 第4回 | 2月27日(土) |  | 1. 第12回東海交流フォーラムの振り返り<br>2. 愛知における協同組合連携を推進するセミナー<br>3. 2016年度の総会に向けて(議題、2016年度の計画について) |

常任理事会は、2015年度に、次の通り計12回開催しました。

2014年度第10回4月17日、第11回5月8日

2015年度第1回6月19日、第2回7月22日、第3回8月12日、第4回9月16日、  
第5回10月15日、第6回11月18日、第7回12月10日、第8回1月20日、  
第9回2月18日、第10回3月11日

### 3. 会員組織

会員の異動は次の通りです。2015年度末の会員数は、正会員個人235人・団体15団体、賛助会員個人108人・団体3団体となりました。(2016年3月20日現在)

|         | 正会員 |    | 賛助会員 |    |
|---------|-----|----|------|----|
|         | 個人  | 団体 | 個人   | 団体 |
| 3月21日期首 | 229 | 16 | 92   | 2  |
| 入会      | 14  |    | 19   |    |
| 退会      | 6   |    | 5    |    |
| 移動      | -2  | -1 | 2    | 1  |
| 3月20日現在 | 235 | 15 | 108  | 3  |

### 4. 法人としての行政への対応など

①特定非営利活動促進法に基づき、2014年度事業報告書を名古屋市に提出しました。(2015/6/17)

②法務局に資産の総額変更登記を行いました。(2015/6/17)

③2014年度決算に基づき税務申告を行い納税しました。納税額は次の通りでした。

国税 法人税 0円(課税対象となる収益事業が赤字決算のため0)  
 地方税 県民税 21,000円(均等割2万円+均等割あいち森と緑づくり税 均等割のみ)  
 事業税 0円(課税対象となる収益事業が赤字決算のため0)  
 市民税 47,500円(均等割47,500円 均等割りのみ)  
 消費税 717,500円(消費税が8%になり前年より304,400円の増となりました。)

※特定非営利活動法人ではありますが、税法上の収益事業により発生した所得については課税されます。

## IV 2015年度決算報告

### 1. 2015年度決算の概要(暫定)

(単位 千円、端数切捨てで表示しています)

|      | 収益の部                 |                    | 費用の部                |                   | 収支差額             |
|------|----------------------|--------------------|---------------------|-------------------|------------------|
|      | 前年度繰越金               | 16,855             |                     |                   |                  |
| 経常収支 | 受取会費<br>(うち維持会費)     | 20,128<br>(18,060) | 管理費                 | 8,439             | 11,689           |
|      | 事業収益<br>(うち学習研修事業収益) | 9,439<br>(8,018)   | 事業費<br>(うち学習研修事業費用) | 19,999<br>(7,373) | ▲10,560<br>(645) |
|      | 受取寄付金                | 600                |                     |                   | 600              |
|      | その他収益                | 195                |                     |                   | 195              |
|      | 当期収益計                | 30,362             | 当期費用計               | 28,439            | 1,923            |

2013年度までは人件費に関わる費用を一括で管理費として計上していましたが、会計を活動計算書に見直す中で、管理と事業に係る実質の時間で配分し、活動実態に即して報告できるようにしました。

主な収入である2015年度の会費収入は20,128千円(個人会費655千円、団体会費1,245千円、賛助会費168千円、維持会費18,060千円)でした。

## 補足：活動計算書の様式変更に伴う主な変更点

①収入は「収益」、支出は「費用」と語句を変更しました。

②事業の科目を整理しました。

これまでの事業を整理し、活動がより明確に区分され、定款第5条の事業内容に沿って以下の3つの事業に区分しました。

1) 「学習研修事業」＝学びと気づき支援＋学習研修（マイスター、理事ゼミなど、）…定款5条（1）にあたります。

2) 「調査研究交流事業」＝学習交流（地域懇談会）＋調査研究（パネル、東海交流フォーラム）…定款5条（2）（3）にあたります。

3) 「情報サービス事業」＝NEWS、報告集発行など広報など…定款5条（4）（5）にあたります。

③事業の費用計上は、これまで一括でしたが、各事業の人件費、その他の経費としています。

- ・人件費は「従事割合」で各事業費と管理費に按分して計上します。
- ・その他の経費の科目は、諸謝金（講師などの謝礼）、業務委託費、事務用品費、通信交通費、会議費、雑費の科目としました。
- ・事務用品費は、用紙、印刷代は枚数のカウントで、各事業費と管理費に「使用割合」で按分しています。

## 2. 2015年度決算書

2015年度の貸借対照表・活動計算書・財産目録は次の通りです。

**2015年度貸借対照表** (単位 円)

2016年3月20日現在

| 科 目               |            | 金 額        |            |
|-------------------|------------|------------|------------|
| <b>I 資産の部</b>     |            |            |            |
| 1                 | 流動資産       |            |            |
|                   | 現金・預金      |            |            |
|                   | 小口現金       | 473,092    |            |
|                   | 普通預金       | 14,983,331 |            |
|                   | 郵便振替口座     | 3,491,533  |            |
|                   |            | 18,947,956 |            |
|                   | 立替金        | 22,786     |            |
|                   | 仮払消費税      | 0          |            |
|                   | 流動資産合計     |            | 18,970,742 |
| 2                 | 固定資産       |            |            |
|                   | 什器備品       | 0          |            |
|                   | ソフトウェア     | 0          |            |
|                   | 固定資産合計     |            | 0          |
|                   | 資産合計       |            | 18,970,742 |
| <b>II 負債の部</b>    |            |            |            |
| 1                 | 流動負債       |            |            |
|                   | 未払金        | 1,015,758  |            |
|                   | 未払法人税      | 68,500     |            |
|                   | 未払消費税      | 27,400     |            |
|                   | 仮受消費税      | 0          |            |
|                   | 流動負債合計     |            | 1,111,658  |
| 2                 | 固定負債       |            |            |
|                   | 長期借入金      | 0          |            |
|                   | 退職給与引当金    | 0          |            |
|                   | 固定負債合計     | 0          |            |
|                   | 負債合計       |            | 1,111,658  |
| <b>III 正味財産の部</b> |            |            |            |
| 1                 | 期首正味財産     | 16,855,726 |            |
| 2                 | 当期正味財産増減額  | 1,003,358  |            |
|                   | 正味財産合計     |            | 17,859,084 |
|                   | 負債及び正味財産合計 |            | 18,970,742 |

**2015年度活動計算書** (単位 円)

2015年3月21日～2016年3月20日

|                      | 2015年度予算   | 2015年度実績   | 予算比   | 補足                          |
|----------------------|------------|------------|-------|-----------------------------|
| <b>I. 経常収益の部</b>     |            |            |       |                             |
| 1. 受取会費              | 20,342,500 | 20,128,000 | 98.9  |                             |
| 1)個人会費               | 797,500    | 655,000    | 82.1  | 個人正会員増30名目標のところ14名の入会       |
| 2)団体会費               | 1,320,000  | 1,245,000  | 94.3  | 団体正会員増2団体目標のところ入会はありませんでした  |
| 3)賛助会費               | 165,000    | 168,000    | 101.8 | 個人賛助会員増30名目標のところ19名の入会      |
| 4)維持会費               | 18,060,000 | 18,060,000 | 100.0 | 維持会費昨年度と同額です                |
| 2. 受取寄付金             | 600,000    | 600,000    | 100.0 |                             |
| 受取寄付金                | 600,000    | 600,000    | 100.0 |                             |
| 3. 事業収益              | 9,770,000  | 9,439,565  | 96.6  |                             |
| 1)学習研修事業             | 8,100,000  | 8,018,746  | 99.0  |                             |
| 2)調査研究交流事業           | 1,600,000  | 1,346,066  | 84.1  | 研究奨励助成30万円、研究集会50万円を繰り入れし加算 |
| 3)情報サービス事業           | 70,000     | 74,753     | 106.8 |                             |
| 4. その他収益             | 231,436    | 195,424    | 84.4  |                             |
| 1)受取利息               | 1,436      | 1,582      | 110.2 |                             |
| 2)雑収入                | 230,000    | 193,842    | 84.3  |                             |
| 経常収益合計(a)            | 30,943,936 | 30,362,989 | 98.1  |                             |
| <b>II. 経常費用の部</b>    |            |            |       |                             |
| 1. 事業費               | 22,101,482 | 19,999,844 | 90.5  |                             |
| 1)人件費                | 10,814,482 | 10,441,511 | 96.6  |                             |
| 職員給与                 | 9,069,871  | 8,762,823  | 96.6  |                             |
| 通勤交通費                | 480,884    | 466,778    | 97.1  |                             |
| 法定福利費                | 1,263,727  | 1,211,910  | 95.9  |                             |
| 2)その他経費              | 11,287,000 | 9,558,333  | 84.7  |                             |
| 諸謝金                  | 2,700,000  | 1,601,797  | 59.3  | 研究集会での謝金も含みます               |
| 業務委託費                | 1,520,000  | 1,391,523  | 91.5  |                             |
| 事務消耗品費               | 1,030,000  | 1,297,899  | 126.0 |                             |
| 通信交通費                | 3,100,000  | 2,329,280  | 75.1  |                             |
| 会議費                  | 2,500,000  | 2,413,602  | 96.5  | 研究集会での会場費等も含みます             |
| 雑費                   | 437,000    | 524,232    | 120.0 | 第4期研究奨励助成30万円を支出しました        |
| 2. 管理費               | 8,817,003  | 8,559,787  | 97.1  |                             |
| 1)人件費                | 4,634,779  | 4,500,685  | 97.1  |                             |
| 役員報酬                 | 0          | 0          | 0.0   |                             |
| 職員給与・賞与              | 3,887,088  | 3,755,498  | 96.6  |                             |
| 通勤交通費                | 206,094    | 180,462    | 87.6  |                             |
| 法定福利費                | 541,597    | 564,725    | 104.3 |                             |
| 2)その他経費              | 4,182,224  | 4,059,102  | 97.1  |                             |
| 厚生費                  | 120,000    | 26,480     | 22.1  |                             |
| 業務委託費                | 720,000    | 995,735    | 138.3 |                             |
| 事務消耗品費               | 75,000     | 131,341    | 175.1 |                             |
| 備品費                  | 200,000    | 53,834     | 26.9  |                             |
| 研修調査費                | 420,000    | 113,021    | 26.9  | 予算で第4期研究奨励助成を計上⇒科目を変更しました   |
| 新聞図書費                | 120,000    | 120,120    | 100.1 |                             |
| 広報費                  | 150,000    | 120,000    | 80.0  | パンフレットを制作した費用です             |
| 通信交通費                | 750,000    | 745,445    | 99.4  |                             |
| 施設・設備利用料             | 622,224    | 622,224    | 100.0 |                             |
| 租税公課                 | 650,000    | 819,956    | 126.1 |                             |
| 会議費                  | 155,000    | 116,035    | 74.9  |                             |
| 渉外費                  | 50,000     | 38,000     | 76.0  | 諸会費です                       |
| 雑費                   | 150,000    | 156,911    | 104.6 |                             |
| 経常費用計(b)             | 30,918,485 | 28,559,631 | 92.4  |                             |
| 当期経常増減額(a)-(b)       | 25,451     | 1,803,358  | 7.086 |                             |
| (正味財産増減の部)           |            |            |       |                             |
| <b>III. 正味財産増加の部</b> |            |            |       |                             |
| 正味財産増加の部合計           | 0          | 0          | 0.0   |                             |
| <b>IV. 正味財産減少の部</b>  |            |            |       |                             |
| 調査研究交流事業繰入額          | 800,000    | 800,000    | 100.0 | 研究奨励助成30万円、研究集会50万円を繰り入れ    |
| 正味財産減少の部合計           | 800,000    | 800,000    | 100.0 |                             |
| 当期正味財産増減額            | -774,549   | 1,003,358  |       |                             |
| 前期繰越正味財産額            | 16,855,726 | 16,855,726 | 100.0 |                             |
| 次期繰越正味財産額            | 16,081,177 | 17,859,084 | 111.1 |                             |

**2015年度財産目録** (単位 円)

2016年3月20日現在

|     | 科 目        | 内 訳       | 金 額        |            |
|-----|------------|-----------|------------|------------|
| I   | 資産の部       |           |            |            |
| 1   | 流動資産       |           |            |            |
|     | 現金預金       | 現金        |            |            |
|     |            | 現金手元有高    | 473,092    |            |
|     |            | 普通預金      | 14,983,331 |            |
|     |            | 郵便振替      | 3,491,533  |            |
|     |            |           | 18,947,956 |            |
|     | 立替金        | 南医療生協     | 22,786     |            |
|     |            |           | 22,786     |            |
|     | 仮払消費税      |           | 0          |            |
|     | 流動資産合計     |           |            | 18,970,742 |
| 2   | 固定資産       | 什器備品      | 0          |            |
|     |            | ソフトウェア    | 0          |            |
|     | 固定資産合計     |           |            | 0          |
|     | 資産合計       |           |            | 18,970,742 |
| II  | 負債の部       |           |            |            |
| 1   | 流動負債       |           |            |            |
|     | 未払金        | コープあいち    | 720,628    |            |
|     |            | 東海コープ事業連合 | 73,440     |            |
|     |            | 業務委託・給与   | 213,320    |            |
|     |            | 理想科学      | 8,370      |            |
|     |            |           | 1,015,758  |            |
|     | 仮受消費税      |           | 0          |            |
|     | 未払法人税      | 未払法人税     | 68,500     |            |
|     | 未払消費税      | 未払消費税     | 27,400     |            |
|     | 流動負債合計     |           |            | 1,111,658  |
| 2   | 固定負債       |           |            |            |
|     | 長期借入金      |           | 0          |            |
|     | 退職給与引当金    |           | 0          |            |
|     | 固定負債合計     |           |            | 0          |
|     | 負債合計       |           |            | 1,111,658  |
| III | 正味財産       |           |            |            |
|     | 期首正味財産     |           | 16,855,726 |            |
|     | 当期正味財産増減額  |           | 1,003,358  |            |
|     | 正味財産合計     |           |            | 17,859,084 |
|     | 負債及び正味財産合計 |           |            | 18,970,742 |

2015年度財務諸表の注記 (単位 円)

2015年3月21日～2016年3月20日

|           | 学習研修事業    | 調査研究交流事業   | 情報サービス事業   | 事業部門計       | 管理部門       | 合計         |
|-----------|-----------|------------|------------|-------------|------------|------------|
| I 経常収益    |           |            |            |             |            |            |
| 1.受取会費    |           |            |            |             | 20,128,000 | 20,128,000 |
| 2.受取寄付金   |           |            |            |             | 600,000    | 600,000    |
| 3.事業収益    | 8,018,746 | 1,346,066  | 74,753     | 9,439,565   |            | 9,439,565  |
| 4.その他収益   |           |            |            |             | 195,424    | 195,424    |
| 経常収益合計    | 8,018,746 | 1,346,066  | 74,753     | 9,439,565   | 20,923,424 | 30,362,989 |
| II 経常費用   |           |            |            |             |            |            |
| (1)人件費    |           |            |            |             |            |            |
| 役員報酬      |           |            |            | 0           | 0          | 0          |
| 職員給与・賞与   | 2,541,219 | 4,994,809  | 1,226,795  | 8,762,823   | 3,755,498  | 12,518,321 |
| 通勤交通費     | 135,366   | 266,063    | 65,349     | 466,778     | 180,462    | 647,240    |
| 法定福利費     | 351,454   | 690,789    | 169,667    | 1,211,910   | 564,725    | 1,776,635  |
| 人件費計      | 3,028,038 | 5,951,661  | 1,461,812  | 10,441,511  | 4,500,685  | 14,942,196 |
| (2)その他の経費 |           |            |            |             |            |            |
| 諸謝金       | 1,074,838 | 526,959    |            | 1,601,797   |            | 1,601,797  |
| 厚生費       |           |            |            |             | 26,480     | 26,480     |
| 業務委託費     | 403,542   | 793,168    | 194,813    | 1,391,523   | 995,735    | 2,387,258  |
| 事務消耗品費    | 435,354   | 320,528    | 542,017    | 1,297,899   | 131,341    | 1,429,240  |
| 備品費       |           |            |            |             | 53,834     | 53,834     |
| 研修調査費     |           |            |            |             | 113,021    | 113,021    |
| 新聞図書費     |           |            |            |             | 120,120    | 120,120    |
| 広報費       |           |            |            |             | 120,000    | 120,000    |
| 通信交通費     | 857,023   | 1,065,250  | 407,007    | 2,329,280   | 745,445    | 3,074,725  |
| 施設・設備利用料  |           |            |            |             | 622,224    | 622,224    |
| 租税公課      |           |            |            |             | 819,956    | 819,956    |
| 会議費       | 1,522,194 | 877,667    | 13,741     | 2,413,602   | 116,035    | 2,529,637  |
| 渉外費       |           |            |            |             | 38,000     | 38,000     |
| 雑費        | 52,218    | 470,551    | 1,463      | 524,232     | 156,911    | 681,143    |
| その他費用計    | 4,345,169 | 4,054,123  | 1,159,041  | 9,558,333   | 4,059,102  | 13,617,435 |
| 経常費用計     | 7,373,207 | 10,005,784 | 2,620,853  | 19,999,844  | 8,559,787  | 28,559,631 |
| 繰入金支出     |           |            |            |             | 800,000    | 800,000    |
| 当期経常増減額   | 645,539   | -8,659,718 | -2,546,100 | -10,560,279 | 11,563,637 | 1,003,358  |

※事業部門及び管理部門の人件費は2014年度秋の実績に基づき配賦しています。

## 監 査 報 告 書

2016 年 4 月 23 日

特定非営利活動法人 地域と協同の研究センター  
理事長 西川 幸城 様

監事 新川 恵美子



監事 徳升 孝司



私たちは、2015 年 3 月 21 日から 2016 年 3 月 20 日の 2015 年度の理事の業務執行状況ならびに財産について監査いたしました。

その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私たちは、特定非営利活動促進法第 18 条及び、地域と協同の研究センターの定款第 17 条に基づいて、監事間での意思疎通及び情報の交換を図るほか、監査計画に従い、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

また、事務所において業務の状況ならびに会計帳簿又はこれに関する資料、その他重要な書類等を閲覧し、調査いたしました。

### 2. 監査の結果

地域と協同の研究センターの業務は法令および定款に従い、2015 年度の活動方針、事業計画にもとづき適正に執行され、会計処理は一般に妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認めます。

よって、私たちは、事業報告および活動計算書が、地域と協同の研究センターの業務執行および財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

理事の職務執行に関しては、不正な行為又は法令もしくは定款に違反する事実はないと認めます。

以上

以上、２０１５年度事業報告、決算報告とします。

２０１６年４月２３日

特定非営利活動法人地域と協同の研究センター

|      |        |                                |
|------|--------|--------------------------------|
| 代表理事 | 西川 幸城  | (コープみえ理事長)                     |
| 専務理事 | 向井 忍   | (コープあいち理事長スタッフ)                |
| 常任理事 | 牛田 清博  | (コープあいち執行役員)                   |
| 常任理事 | 河原 洋之  | (コープぎふ参与)                      |
| 常任理事 | 竹内 輝彦  | (コープみえ執行役員)                    |
| 常任理事 | 小木曾 洋司 | (中京大学現代社会学部教授)                 |
| 常任理事 | 向井 清史  | (名古屋市立大学特任教授)                  |
| 理事   | 朝倉 美江  | (金城学院大学人間科学部教授)                |
|      | 荒井 聡   | (岐阜大学応用生物科学部教授)                |
|      | 石橋 一郎  | (大学生協東海事業連合理事会室長)              |
|      | 伊藤 佐記子 | (コープぎふ組合員)                     |
|      | 岩橋 良直  | (J A愛知中央会常勤監事)                 |
|      | 岡田 祐成  | (社会福祉法人なごや平和福祉会理事・施設長)         |
|      | 川崎 直巳  | (コープぎふ理事長)                     |
|      | 上林 美也子 | (コープぎふ副理事長)                    |
|      | 黒川 富子  | (社会福祉法人名北福祉会)                  |
|      | 駒井 義明  | (東海コープ事業連合執行役員)                |
|      | 近藤 宏一  | (コープあいち労働組合書記局次長)              |
|      | 近藤 充代  | (日本福祉大学経済学部教授)                 |
|      | 坂本 龍雄  | (中京大学スポーツ科学部スポーツ健康科学科教授)       |
|      | 下里 玉美  | (コープあいち理事)                     |
|      | 田所 登代子 | (コープあいち理事)                     |
|      | 田邊 準也  | (コープあいち顧問)                     |
|      | 長井 知津代 | (コープみえ理事)                      |
|      | 夏目 有人  | (コープあいち理事長)                    |
|      | 成瀬 幸雄  | (南医療生協専務理事)                    |
|      | 野田 輝己  | (農業経営)                         |
|      | 橋本 吉広  | (大学非常勤講師)                      |
|      | 平野 哲至  | (会社コンサルタント)                    |
|      | 森島 和子  | (コープみえ理事)                      |
|      | 村上 一彦  | (農業・農協問題研究所三重支部)               |
|      | 山村 まさこ | (コープぎふ理事)                      |
|      | 幸松 孝太郎 | (グローバル・アントレプレナー教育研究センター 客員研究員) |
|      | 兼子 厚之  | (前研究センター事務局)                   |
| 事務局長 | 大島 三津夫 | (研究センター事務局)                    |

## 第2号議案 2016年度事業計画と予算決定の件

### I. 2016年度事業計画の柱

地域と協同の研究センターは、第三期中期目標を掲げ、協同組合・市民協同組織が実践をすすめる場である地域を基盤にした活動を探求してきました。その内容は、協同と協同組合に関わる活動が進むよう、地域ごとに会員や市民が参加し、つながり、学び合い、情報を発信し合って、支える役割が果たせることを目指すものです。そのため柱と重点を下記のようなことを確認し、取り組んできました。

(1) 地域懇談会・地域のつどい等地域ごとの学び・企画を重視し、より会員に身近な地域と協同の研究センターを目指します。

①地域と協同の研究センターの取り組みは、今後地域を基盤にすすめることを探求します。

②第三期中期目標の実践は会員・市民、みんなの参加ですめます。

(2) 協同組合・市民協同組織に関わる交流、学び合い、研究をすすめ、その理念と役割を深め合っていく場を広げます。

①協同組合・市民協同組織の理念と役割を深め合う場の創出

②学び合いの場の充実

※これまで「地域を軸に」と表現してきましたが、その意図をより正確に表現するために「地域を基盤に」と、2016年度から変更して表現します。

2015年度までの取り組みで、目標としたことを着実に進めることができました。2016年度は中期目標を掲げた最終年度です。形になってきた地域を基盤とした活動の到達点の上に、次期中期目標につながる展望をつくっていきます。

2016年度は下記のことを目標とします。

①四つの地域（三河、三重、岐阜、尾張）を基盤とした地域と協同の研究センター活動をすすめます。

②各地域で展開された活動の成果を、地域と協同の研究センター全体で共有し、深め、市民・団体、社会への情報提供・提言につなげます。

③協同組合・市民協同組織の理念と役割を深め合い、テーマを設けて学び合い（研究し）ます。

団体会員（生協）の活動や事業との関わりと、地域での多様な主体の協同を促進できる研究センターの役割など、一つ一つステップを踏んで、地域ごとに広げます。

特に東海の地域ごとの協同による「持続可能なまち（地域）づくり」が発展することを目指し、「協同と協同組合が果たす役割」を探ることを中心におきます。その成果を次期中期目標（2017年度～2019年度）に引き継ぎます。

### II. 2016年度事業計画の構成と具体的な取り組み計画

#### 1. 協同組合の理念・役割・あり方の探究と情報の発信

(1) 各地域の協同組織・協同組合の実践から学ぶ

会員の身近な地域での実践、団体会員の活動や事業との関わり等も視野に入れ、地域を基盤にした研究センター活動を探求し、各地域懇談会の取り組みを確立していきます。

##### ①三河地域懇談会

「私たちの暮らしと介護」～地域で絆な老い支度を～をテーマに、3ヶ年計画の3年目として、世話人会で相談し、取り組みをすすめます。地域での協同の取り組みに学び、会員交流の場を設けます。

##### ②三重地域懇談会

2016年度は、「障がい者福祉」「地域福祉」「郷土料理・食文化」をテーマに、世話人会で相談し、学習や地域の調査に取り組んでいきます。

##### ③岐阜地域懇談会

「岐阜を知ろう！つながろう！」をテーマに、引き続き岐阜地域の調査・研究活動を行っていきます。世話人

が地域の下見も行いながら、今まで行けていない地域、生協の中の活動の見学など候補地を相談して取り組みます。これまでの岐阜地域の事例をコープの組合員、職員に知ってもらえるように、訪問報告の冊子を作成して配布します。

#### ④尾張地域懇談会

今後のテーマを「『都市』における『地域』を考える」としていくことを相談しました。まずは地域を知ることから始めようと、無料学習支援教室「学び場」、若者の自主学習の場、憩いの場を提供されている「ポトスの部屋」や、食事を提供している「わいわい子ども食堂」を訪問し、地域を考えます。

### (2) 実践発の共通テーマをさらに深める4つの領域での研究フォーラム

地域ごとの持続可能なまち（地域）づくりの実践を共有し深める視点を重視し、地域を基盤にした研究センター活動を支援できるよう4つのテーマを設け学び合い、その内容を蓄積します。

#### ①研究フォーラム「食と農」

「食と農を考える」学習会で提起された、生活者、消費者として農業にどうかかわるか、市民、地域が支える農業へとは？で議論をすすめ、事例の調査会を検討して進めるようにします。特に、生産者や協同組合の皆さんに参加いただき、各生協の「食と農」の取り組みを支援できるように情報を寄せ合い、調査活動を継続して行っていくようにし、世話人への参加を広げていきます。

#### ②研究フォーラム「地域福祉を支える市民協同」

引き続き調査活動をすすめ、「地域福祉を支える市民協同とは」という課題を探究していきます。意見交流を重ね、「瀬戸・窯のひろば」とNPO法人エム・トゥ・エムの活動についての調査活動の「報告書」をまとめ情報発信できるようにします。また新たな地域の市民協同活動事例の調査活動をすすめ、コープの取り組みも学び、「これからの地域福祉と非営利・協同組合の役割」の政策検討につなげていけるようにしていきます。

#### ③研究フォーラム「職員の仕事を考える」

これまで取り組んできた共同購入事業に係わる職員のヒアリングを土台に、2016年度は外部の方から生協と生協の職員の仕事に対する期待を聴く座談に取り組みます。この座談会を通して、職員の仕事について考え合っていきます。

#### ④研究フォーラム「環境」

各生協・各地域の環境活動を応援できるよう、一步すすんだ情報を共有しながら、情報の集積を引き続きはかります。「再生可能エネルギー」で、地域で私たちに何ができるか、地域ごとの事例で何があるか事例調査・見学に取り組みます。まずはこの4月から始まる「電力の小売り自由化」について考える学習会を開催します。

### (3) 持続可能なまち（地域）づくりと協同組織・協同組合の役割・あり方を考える

農協、漁協、地域生協、医療生協、大学生協、労働者協同組合等、協同組合が連携し、発展できるよう、地域に密着した協同組合のあり方を探求し、「東海発」でこうした実践を理論化し、広げていくことを目標とします。

#### ①生協の（未来の）あり方研究会

2013年度に発刊した「未来を拓く協同の社会システム」の成果をさらに進化させ、次の段階の問題意識、新しい問題意識を加え、研究会を重ねます。2016年度は研究会のメンバーの論考を世に問う書籍の発刊を、新たな研究者の参加を得て準備します。

#### ②総会記念シンポジウム

東海交流フォーラムで、地域で「小さなつながり」の中で、よりゆたかな地域社会を築こうとする実践を紹介し合ってきました。今年度は成長ばかりめざす競争社会ではなく、志と価値観の共有が働くことの充足感をもち「共創社会」について紹介いただき、地域の小さなつながり、小さな協同の実践について、その価値を確認し、その先の社会のあり方について考え合い、地域の協同組合が果たすべき役割について考え合います。

### ③第13回東海交流フォーラム

地域懇談会を主体に、取り組まれる協同を力としたまち（地域）づくりの実践を寄せ合い、各地域から参加して実行委員会（企画の内容、テーマの継承、当日の内容の掘り下げ方などを検討する）をつくり準備します。

### ④国際協同組合デー記念企画

各県ごとの情報を紹介し、交流をすすめます。また、愛知の地域で、生活協同組合・農業協同組合関係者で連携を推進するため、協同組合についての共同した学習会として行う、食と農、次世代、医療介護福祉のテーマで交流しながら継続した取り組みをすすめようと相談しています。

### ⑤政策提言活動

「グローバル化の下で、食と農（環境面も含む）を支え、地域の福祉（医療・健康）を向上させる、東海の地域ごとの持続可能なまち（地域）づくりを目指し、地域発の協同と協同組合（非営利組織）の発展を図る提言」としてまとめることができるよう、検討するチームをつくり、理事会で協議し、公開の場で議論を重ねることができるようにします。

### ⑥次期中期目標の準備

2016年度活動を通じ、次期中期目標の検討を進め、準備していきます。

## 2. 協同の主体づくり・担い手づくりと学びと気づきの支援

これまで地域と協同の研究センターが主催し設けてきた学びと気づきの場を継続して開催します。

### ①共同購入事業マイスターコース

共同購入事業マイスターコース企画委員会で相談し、2016年度第8期を開講します。

### ②組合員理事ゼミナール

2016年度～2017年度で新任の組合員理事の皆さんを中心に、すでに受講された方にも再度受講いただけるよう工夫し第4期の組合員ゼミナールを開講します。

### ③協同の未来塾

2015年度～2016年度で第2期協同の未来塾を開講しています。2016年度は後半を開講します。

### ④名古屋市立大学での寄付講義

名古屋市立大学で、2016年度上期も、2014年度、2015年度の経験を活かし、継続して協同組合に関わる寄付講義「現代社会における人と地域のつながり」を開講します。

### ⑤協同体験セミナー

社団法人協同・夢プロジェクトで実施する「協同体験セミナー」について協同組合・市民の協同の活動を学ぶ場として支援していきます。

## 3. 会員による多様な地域と協同に関わる活動の支援

会員による多様な地域と協同に関わる活動を、研究センターとして支援していきます。

### (1) ものづくりの思いを語る会の支援

ものづくりの思いを語る会としての新たな取り組みに向けて、支援をしていきます。会としての思い、蓄積を発信できるようにします。「くらしと生産をつなぐ“もの”づくり」準備会と連携を深めます。

### (2) 「くらしと生産をつなぐ“もの”づくり」のための場づくり

多くの方に呼びかけながら、年3回ワークショップも入れた学習会やセミナーなどの内容として、たくさんの成功事例を学ぶ場とするという骨格のすすめ方です。研究センター理事会に提案して、準備の検討をすすめます。

### (3) 第四期研究奨励助成の研究成果の共有

第四期研究奨励助成に応募いただいた皆さんの研究活動が取り組まれます。中間で報告いただくことや、活動の支援に取り組めます。

## 4. 協同に関わる情報の蓄積と社会的発信

研究センター活動を支える情報のさらなる蓄積と発信をNEWS編集委員会でも検討してすすめます。毎月発行の「研究センターNEWS」と増刊「地域と協同」、ホームページ、フェイスブックも、会員の参加による改善を行い、会員活動に役立つことを目指します。

情報としてテーマをいかに深め掘り下げるか、協同組合事業の視点を持つなど課題もあります。課題を踏まえつつ増刊「地域と協同」第5号は、第12回東海交流フォーラムを特集し、第6号は、研究センターの様々な活動や東海の実践からの素材で活動が広がるような内容で発行を目指します。

## 5. 研究センターの組織づくり

2016年度は昨年度同様にお誘い集中月間を設け、積極的に会員の増加運動に取り組むとともに、研究センターを生かした会員の活動のあり方を考えます。特に団体会員の研究センターとの関わりや活用を個別にヒアリングし、双方の発展につなげます。研究センターに所属している価値を共有し個々の活躍の場を追求します。また、会員を繋げる「研究センターNEWS」や増刊「地域と協同」の内容を充実させるとともに、会費納入についても利便性を考慮した対応を検討します。

|    |       |    |     |
|----|-------|----|-----|
| 目標 | 個人正会員 | 入会 | 20人 |
|    | 賛助会員  | 入会 | 40人 |
|    | 団体正会員 | 入会 | 2団体 |

研究センターの組織・活動を支える2016年度の事務局体制は6名とします。（常勤2名、委託又はアルバイト職員4名）

### Ⅲ. 2016年度活動予算

2016年3月21日～2017年3月20日

|                    | 2015年度実績   | 2016年度予算(案) | 前年比    | 補足                         |
|--------------------|------------|-------------|--------|----------------------------|
| <b>I. 経常収益の部</b>   |            |             |        |                            |
| 1. 受取会費            | 20,128,000 | 20,245,000  | 100.6% |                            |
| 1)個人会費             | 655,000    | 700,000     | 106.9% | 個人正会員増 目標20人               |
| 2)団体会費             | 1,245,000  | 1,305,000   | 104.8% | 団体正会員増 目標2団体               |
| 3)賛助会費             | 168,000    | 180,000     | 107.1% | 個人賛助会員増 目標40人              |
| 4)維持会費             | 18,060,000 | 18,060,000  | 100.0% |                            |
| 2. 受取寄付金           | 600,000    | 600,000     | 100.0% |                            |
| 受取寄付金              | 600,000    | 600,000     | 100.0% |                            |
| 3. 事業収益            | 9,439,565  | 6,725,000   | 71.2%  |                            |
| 1)学習研修事業           | 8,018,746  | 5,825,000   | 72.6%  | 学びと気づきの支援収益が減額             |
| 2)調査研究交流事業         | 1,346,066  | 800,000     | 59.4%  |                            |
| 3)情報サービス事業         | 74,753     | 100,000     | 133.8% |                            |
| 4. その他収益           | 195,424    | 201,600     | 103.2% |                            |
| 1)受取利息             | 1,582      | 1,600       | 101.1% |                            |
| 2)雑収入              | 193,842    | 200,000     | 103.2% |                            |
| 経常収益合計(a)          | 30,362,989 | 27,771,600  | 91.5%  |                            |
| <b>II. 経常費用の部</b>  |            |             |        |                            |
| 1. 事業費             | 19,999,844 | 18,430,000  | 92.2%  |                            |
| 1)人件費              | 10,441,511 | 9,700,000   | 92.9%  |                            |
| 職員給与               | 8,762,823  | 7,200,000   | 82.2%  |                            |
| 通勤交通費              | 466,778    | 1,300,000   | 278.5% |                            |
| 法定福利費              | 1,211,910  | 1,200,000   | 99.0%  |                            |
| 2)その他経費            | 9,558,333  | 8,730,000   | 91.3%  |                            |
| 諸謝金                | 1,601,797  | 1,600,000   | 99.9%  |                            |
| 業務委託費              | 1,391,523  | 1,400,000   | 100.6% |                            |
| 事務消耗品費             | 1,297,899  | 1,300,000   | 100.2% |                            |
| 通信交通費              | 2,329,280  | 1,800,000   | 77.3%  | 学びと気づき事業のための費用を減額          |
| 会議費                | 2,413,602  | 2,400,000   | 99.4%  |                            |
| 雑費                 | 524,232    | 230,000     | 43.9%  |                            |
| 2. 管理費             | 8,559,787  | 9,297,224   | 108.6% |                            |
| 1)人件費              | 4,500,685  | 4,065,000   | 90.3%  |                            |
| 役員報酬               | 0          | 0           |        |                            |
| 職員給与・賞与            | 3,755,498  | 3,000,000   | 79.9%  |                            |
| 通勤交通費              | 180,462    | 505,000     | 279.8% |                            |
| 法定福利費              | 564,725    | 560,000     | 99.2%  |                            |
| 2)その他経費            | 4,059,102  | 5,232,224   | 128.9% |                            |
| 厚生費                | 26,480     | 50,000      | 188.8% |                            |
| 業務委託費              | 995,735    | 1,000,000   | 100.4% |                            |
| 事務消耗品費             | 131,341    | 130,000     | 99.0%  |                            |
| 備品費                | 53,834     | 100,000     | 185.8% |                            |
| 研修調査費              | 113,021    | 120,000     | 106.2% |                            |
| 新聞図書費              | 120,120    | 120,000     | 99.9%  |                            |
| 広報費                | 120,000    | 120,000     | 100.0% | 研究センター紹介パンフレットの制作          |
| 通信交通費              | 745,445    | 750,000     | 100.6% |                            |
| 施設・設備利用料           | 622,224    | 622,224     | 100.0% | 事務所賃料                      |
| 租税公課               | 819,956    | 820,000     | 100.0% | 消費税等                       |
| 会議費                | 116,035    | 200,000     | 172.4% | 理事会等会場費(生協生活文化会館が利用できないため) |
| 渉外費                | 38,000     | 50,000      | 131.6% | 諸会費                        |
| 予備費                | 0          | 1,000,000   |        | 事務所移動のための備品購入等のための予備費用     |
| 雑費                 | 156,911    | 150,000     | 95.6%  |                            |
| 経常費用計(b)           | 28,559,631 | 27,727,224  | 97.1%  |                            |
| 当期経常増減額(a)-(b)     | 1,803,358  | 44,376      | 2.5%   |                            |
| (正味財産増減の部)         |            |             |        |                            |
| <b>Ⅲ. 正味財産増加の部</b> |            |             |        |                            |
| 正味財産増加の部合計         | 0          | 0           | 0.0%   |                            |
| <b>Ⅳ. 正味財産減少の部</b> |            |             |        |                            |
| 調査研究交流事業繰入額        | 800,000    | 0           | 0.0%   |                            |
| 正味財産減少の部合計         | 800,000    | 0           | 0.0%   |                            |
| 当期正味財産増減額          | 1,003,358  | 44,376      | 4.4%   |                            |
| 前期繰越正味財産額          | 16,855,726 | 17,859,084  | 106.0% |                            |
| 次期繰越正味財産額          | 17,859,084 | 17,903,460  | 100.2% |                            |

### 第3号議案 理事・監事の選出及び顧問委嘱承認の件

2016年5月30日をもって、第9期役員（2014年5月30日～2016年5月30日）の任期が満了しますので、定款第16条に基づき通常総会において、第10期理事・監事を選出します。選出する役員定数は、定款第14条にもとづき理事35名、また監事の協議から監事2名とします。役員の任期は、2016年5月28日から2018年5月28日までの2年間です。各役員の選出区及び定数は、次の通りとします。

理事：愛知地域 12名、岐阜地域 6名、三重地域 6名、全体枠 11名 以上35名

監事：全体枠 2名

※全体枠とは、県域を越えた連合組織所属・研究センター運営に関わる役員及び東海3県以外に在住する会員の選出枠です。

理事・監事の選出に当たり、役員選出規約第4条第2項にもとづき、立候補受付を公示します。理事・監事に立候補する方は、5月19日までに選出区を明らかにして、役員選出管理委員会に立候補の届け出を行ってください。

2016年通常総会役員選出管理委員会

### 第4号議案 定款の一部変更の件

「定款の一部変更」について下記のように提案します。

＜変更理由＞

2011年6月15日に特定非営利活動法人法の改正案が成立し、2012年4月1日から施行されました。それに伴い、地域と協同の研究センター定款の第50条の会計書類について、「収支計算書」を、活動に係る事業の実績を表示する「活動計算書」に変更しました。関わって、定款の規定（法10条第1項第8号及び法27条第3号に係る）について、関連する箇所の用語を変更します。

#### 1. 定款第25条にもとづき、定款第25条を次の通り変更します。

※定款第25条により、定款の変更は総会の議決事項となっています。

| 変更前                                                                                                                                                                                                                                                            | 変更後                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (権能)<br>第25条 総会は、以下の事項について議決する。<br>(1)定款の変更<br>(2)解散<br>(3)合併<br>(4)規約の制定、改廃<br>(5)事業計画及び予算並びにその変更<br>(6)事業報告及び決算<br>(7)役員の選任又は解任、職務及び報酬<br>(8)会費の額<br>(9)借入金（その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第52条において同じ。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄<br>(10)事務局の組織及び運営<br>(11)その他運営に関する重要事項 | (権能)<br>第25条 総会は、以下の事項について議決する。<br>(1)定款の変更<br>(2)解散<br>(3)合併<br>(4)規約の制定、改廃<br>(5)事業計画及び予算並びにその変更<br>(6)事業報告及び決算<br>(7)役員の選任又は解任、職務及び報酬<br>(8)会費の額<br>(9)借入金（その事業年度内の収益をもって償還する短期借入金を除く。第52条において同じ。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄<br>(10)事務局の組織及び運営<br>(11)その他運営に関する重要事項 |

## 特定非営利活動法人地域と協同の研究センター 2015年度通常総会議事録

1. 日 時 2015年5月30日（土） 開会 10時30分 閉会 12時05分

2. 会 場 生協生活文化会館4階ホール  
住所：愛知県名古屋市中千種区稲舟通1丁目39

3. 出席者（議案採決時の出席数）

＜内訳＞

|       | 出席者 | 実出席 | 委任 | 書面表決 | 正会員数 | 出席率   |
|-------|-----|-----|----|------|------|-------|
| 個人正会員 | 152 | 62  | 1  | 89   | 226  | 67.2% |
| 団体正会員 | 14  | 7   | 0  | 7    | 15   | 93.0% |
|       | 166 | 69  | 1  | 96   | 241  | 68.8% |

4. 審議事項

- (1) 第1号議案 2014年度事業報告と決算承認の件
- (2) 第2号議案 2015年度事業計画と予算決定の件
- (3) 第5号議案 定款の一部変更の件

5. 議事経過の概略及び議決の結果

(1) 開会

定刻となり、司会者の河原洋之常任理事が、総会の出席者について、開会時点で164名（実出席67名、書面表決者96名、委任1名）となり、5月30日現在の正会員241名（個人正会員226名、団体正会員15名）の過半数122名に達していることを報告し、定款29条に基づき、2015年度通常総会を開会することを宣言した。

(2) 議長選出及び議事録署名人の選任と書記の任命

司会者が議長の選出方法について諮り、理事会から推薦することにつき異議なく承認されたので、理事会が推薦した森島和子理事、長井知津代理事を紹介し、満場一致をもってこれを承認し、本人も了解して議長の任についた。

議長が議事録署名人に井藤洋子会員、近藤育子会員を提案し、異議なく選任された。つづいて議長は書記に研究センター事務局の伊藤小友美会員を任命した。

(3) 議案の審議及び結果

西川幸城代表理事のあいさつの後、議長が理事会に議案の提案説明を求め、向井忍専務理事から、議案書に基づき第1号議案 2014年度事業報告と決算、第2号議案 2015年度事業計画と予算、第3号議案 定款の一部変更についての提案があった。

次に、監事を代表して徳升孝司監事が監査報告書に基づき監査の報告をした。

続いての質疑・討論では理事会からの議案提案に基づき、会10人の会員から発言があった。これに対し、向井専務理事から説明、回答が行われた。

発言者

- ①犬飼敏之会員 「研究センター全体での取り組み」について
- ②荒井聡会員 「日本協同組合学会岐阜大会の開催支援」について
- ③下里玉美会員 「尾張地域懇談会」について
- ④福井千代子会員 「岐阜地域懇談会」について
- ⑤原勝行会員 「岐阜地域懇談会」について
- ⑥田所登代子会員 「三河地域懇談会」について
- ⑦仲田伸輝会員 「地域福祉を支える市民協同パネル（研究フォーラム）」について
- ⑧伊東昌子会員 「環境パネル（研究フォーラム）」について
- ⑨樽松佐一会員 「研究センター全体での取り組み」について

⑩橋本吉広会員 「協同に関わる情報の蓄積と社会的発信」「会員による多様な研究センター活動の支援」について

以上をもって討論を終え、採決に入ることを議長が宣言した。

議長が第1号議案、第2号議案、第3号議案について、それぞれ挙手で採決を行い、第1号議案、第2号議案について、圧倒的多数の賛成で可決されたことを宣告した。また第3号議案は総会出席者の2/3以上の賛成で可決されたことを宣告した。採決結果は次の通りであった。

|       |                   |    |   |    |   |    |        |
|-------|-------------------|----|---|----|---|----|--------|
| 第1号議案 | 2014年度事業報告と決算承認の件 | 反対 | 0 | 保留 | 0 | 賛成 | 明らかな多数 |
| 第2号議案 | 2015年度事業計画と予算決定の件 | 反対 | 0 | 保留 | 0 | 賛成 | 明らかな多数 |
| 第3号議案 | 定款の一部変更の件         | 反対 | 0 | 保留 | 0 | 賛成 | 163    |

すべての議案の議決が終了したことを議長が宣言し、議長を退任した。司会の河原洋之常任理事が、通常総会の閉会をつけ、12時5分閉会した。

上記の議事を明確にするため、ここに本議事録を作成し、議長及び議事録署名人において、次に署名押印する。

2015年5月30日

特定非営利活動法人地域と協同の研究センター2015年度通常総会

議長 森島 和子 印

-----

議長 長井 知津代 印

-----

議事録署名人 井藤 洋子 印

-----

議事録署名人 近藤 育子 印

-----

## 2016年度通常総会議案

(総会開催日 2016年5月28日)

発行日 2016年5月6日

発行所 特定非営利活動法人  
地域と協同の研究センター  
代表理事 西川幸城

〒464-0824

名古屋市千種区稲舟通1-39

電話 052-781-8280 Fax 052-781-8315